

# Research Studio GET program 2026

“Research Studio”では、医療系シーズに特化した人材育成プログラムを展開

【医療系シーズに特化し、連携大学と協力して2018年から展開する起業人材育成プラットフォーム” Research Studio”では、2024年に国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「大学発医療系スタートアップ支援プログラム」に採択され、研究開発のレベルに応じた支援をGET(Global Entrepreneur Training)プログラムとして展開しています。

このプログラムでは、研究の構想段階でのニーズ探索から、開発計画策定 (TPPコース) や事業計画策定 (BPコース)、海外展開 (UCSDコース) までを段階的にサポートし、各シーズの研究開発の進捗に応じて、適したタイミングで参加できる仕組みになっており、多様な専門分野で活躍するトップリーダーからなるメンター陣と、臨床医や起業経験者からなるファシリテーター・チューター陣が、医療系シーズの実用化を目指す起業人材に実践的なトレーニングを提供します。

4/25(土)開催の本イベントでは、医療系スタートアップに必要な知識を学習できる講演と人材育成プログラム「開発計画策定 (TPP) コース」の参加者を、ピッチにより選考します。

2026年度は、TPPコースで内容をブラッシュアップし、伴走支援プログラム(GAPファンド:S0,S1)にチャレンジ可能なスケジュールとなっています。(裏面参照)

プログラム第1弾  
TPPコース参加者  
選考会

4/25 (土) 9:30 - 17:00

ピッチ登壇者  
募集!

日本橋ライフサイエンスハブ LSH-A会議室

中央区日本橋室町1丁目5-5  
室町ちばぎん三井ビルディング8階

<https://www.nihonbashi-lifescience.jp/hub/>

参加費無料

ピッチ登壇エントリー  
聴講申込は[こちら](#)から!

JOIN NOW



<https://resstplatform.org/research-studio/event/>

■ ピッチ登壇者 エントリー締切 ■

3/31 (火) 正午

■ 聴講者 申込締切 ■

4/20 (月) 正午

Research Studio 8年間の実績

(FY2018~FY2024)

44 チーム(130名)支援

24 社 起業

3 社 米国に設立

23 チーム 資金調達

総額 130 億円

11 チーム 非臨床POC  
取得

3 チーム 治験実施中





対象者:参加区分

**①ピッチ登壇者**

TPPコース  
参加希望者

- ・アカデミア発の医療シーズをもとに、起業を目指している方(シーズをお持ちの方、またはビジネス経験のある方)。
- ・5月以降に予定している「開発計画策定コース」の選考会として実施される本イベントに参加し、保有する医療シーズをブラッシュアップしたい方。

**メリット**

- ・講義やピッチに対するメンタリングを通じて、アイデアやシーズをより魅力的に磨き上げることができます。
- ・開発計画策定コースに採択されると、専門家によるより踏み込んだメンタリングを受けられます。
- ・聴講者の中からマッチング希望者と出会い、チームメンバーを増やすことができます。

**②聴講者**

講演聴講  
&ピッチ観覧

- ・医療系シーズの開発・起業に関心があり、情報収集やネットワーキングを目的とする方。
- ・ビジネス/医療・臨床開発の経験を活かし、ピッチ登壇者チームへの参画(マッチング)を希望する方。
- ・学生等でインターン参加を希望する方。

**メリット**

- ・スタートアップに関心のある方が、将来に役立つ実践的な情報を得られます。
- ・講義やピッチに対するメンタリングを通じて、医療系シーズの研究開発プロセスを体系的に理解できます。
- ・今後のプログラムにインターンとして参加し、スタートアップの現場を間近で学ぶ機会があります。
- ・ネットワーキングを通じて人脈や新たなつながりを広げられます。

**当日タイムテーブル**

(3/24暫定)

\*内容は予告せず変更されることがあります。予めご了承ください。

09:30	開場
10:00	開会 ○開会あいさつ 町野 毅 筑波大学 橋渡し研究支援拠点長  ○来賓あいさつ 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 課長 倉田 佳奈江 様  国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 橋渡し研究プログラム(大学発医療系スタートアップ支援プログラム) プログラムスーパーバイザー(PS) 久保庭 均 様
午前	■ 講演 ■  ○筑波大学が目指すスタートアップエコシステム 中内 靖 氏(筑波大学副学長 株式会社FullDepth取締役会長(共同創業者))  ○日本発創業スタートアップのつくり方:エコシステム、政策支援、R-Edgeの実践 志鷹 義嗣 氏(株式会社RealizeEdge Partners代表取締役社長)  ○大学発スタートアップの楽しさと難しさ <span style="background-color: #f08080; padding: 2px;">米国からオンライン登壇</span> 池野 文昭 氏(スタンフォード大学)
12:40頃	
昼休憩	1時間程度
13:30頃	(再開)  ■ 開発計画策定(TPP)コース選考会 ■  最大10チームが参加 各チーム5分間のピッチで、シーズやプロジェクトをアピール ピッチ後のQ&Aセッションでは、専門の審査員が質疑を実施 すべてのピッチ終了後に審査を行い、5チームをTPPコース参加者に採択
午後	○Research Studio人材育成プログラム(事業紹介)  ○TPPコース採択者発表  ○閉会あいさつ・フォトセッション 町野 毅 筑波大学 橋渡し研究支援拠点長
17:00	終了

**講演について**



**筑波大学が目指す  
スタートアップエコシステム**

中内 靖 氏 筑波大学副学長(産学連携担当)  
国際産学連携本部長、システム情報工学系教授  
株式会社FullDepth取締役会長(共同創業者)

筑波大学では教員・学生発スタートアップを多数創出しており、その下支えを行う国際産学連携本部が行う、アントレプレナーシップ教育、スタートアップ支援、共同研究組成の取り組みについて紹介する。また、自身が創業した300m潜航可能な水中ドローンを製造販売する株式会社FullDepthの事業展開を参考事例として紹介する。



**日本発創業スタートアップのつくり方  
: エコシステム、政策支援、R-Edge の実践**

志鷹 義嗣 氏 株式会社 RealizeEdge Partners  
代表取締役社長

東京大学卒業。  
アステラス製薬にて専務担当役員・チーフサイエンティフィックオフィサーとしてグローバル研究部門を統括。創業および事業開発分野で約30年の経験を有し、米国AIRM社の社長などを歴任。多様な疾患領域・革新的モダリティにおける創業研究をグローバルにリード。  
2023~2025年の間、一般社団法人FIRMの代表理事・会長を務め、日本の再生医療の産業化を推進。



**大学発スタートアップの  
楽しさと難しさ**

池野 文昭 氏 STANFORD UNIVERSITY  
(米スタンフォード大学)

自治医科大学卒業。2001年からスタンフォード大学循環器科での研究を開始し、米国医療機器ベンチャーの研究開発、動物実験、臨床試験等に関与する。医療機器分野での豊富なアドバイザー経験と、日米のいる。医療機器における日米規制当局のプロジェクトにも参画し、国境を超えた医療事情に精通して医療機器エコシステムの確立に尽力している。2014年からは、Stanford Biodesign Advisory Facultyとして、医療機器分野の起業家養成講座で教鞭をとっており、日本版Biodesignの設立にも深く関与。日本にもシリコンバレー型の医療機器エコシステムを確立すべく、精力的に活動している。